



SMILE ASIA in Cambodia

Quality of Life and Happiness for Women and Children

～ 2023 年度の活動レポート ～

2023 年、カンボジアは選挙イヤーでした。7 月下旬の総選挙へ向け、コミュニティにおける集会の開催制限が発動され、ファシリテーターの事前研修会は 7 月末、識字クラスも 8 月の開講となりました。開講期間が通常より短くなったことに加え、長引く円安と現地物価高の煽りを受けるなど、クラス開講数は大幅な見直しを迫られました。多くの困難に直面した 1 年でしたが、現地協力団体であるカンボジア女性開発協会（CWDA）では様々な工夫を凝らし、ファシリテーターや学習者へのきめ細かいフォローを提供するなど、2023 年度も、質を下げることなく 2 つの村で SMILE の識字クラスを無事開講することができました。読み書き計算、保健と衛生の知識を得た学習者からは多くの喜びの声が届いています。個人・法人の皆さまの温かいご支援に改めて御礼申し上げます。

プロジェクトサイト

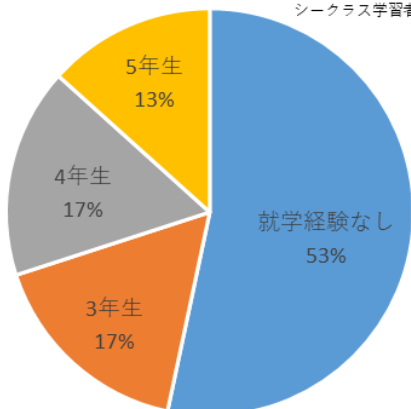
2023 年度の SMILE プロジェクトは、首都プノンペンから 65 km あまり離れたコンボンスプー州サムロントン郡ロリエンクルー地区で開講されました。成人識字の課題が大きいことから、郡レベルの教育関係者の要請を受け、クラスを開講することとなりました。また、この地区では、学区域の小学校に通うのに車両通行量の多い国道を渡る必要があるため、通学困難や就学意欲低下を理由とした中途退学も問題となっています。水道が整備されていないことから、地域住民の保健や衛生管理も大きな課題です。世帯職業別には、農業従事者が半数以上を占め、4 割前後が近郊の工場勤務、残りが小売業を営むなどしています。



学習者のみなさん

Q. 何学年まで修了しましたか

(2023 年度ベーシックリテラシークラス学習者 30 名対象)



2 つの村で計 30 名が基礎的な読み書きの学習に取り組みました。半数以上が学校に通ったことがなく、読み書きが全くできない「非識字者」とされる方々です。残りの 14 名も小学校を卒業することなく中退しています。退学の理由は幼い弟や妹の世話をするため、家が貧しく商売で家計を助けるため、農業の手伝いをするためなどです。このような理由から、就学経験があっても欠席がちとなり、授業についていかれず留年を繰り返し、学習意欲も低下。最終的には中退に至るといったケースがほとんどです。中には、退学後一度も本に触れたことがないという女性もいました。

また、2023 年度の SMILE クラスには 20 歳未満の男女 6 名が参加を希望し、プロジェクトのメインターゲットである子育て中の母親や祖母と並んで学習に励む姿が見られました。

クラスの様子

クラスは基本的には土日の週2日間、1日あたり2時間です。開始時刻は学習者とファシリテーターとで相談して決めます。それでも、家庭の事情や就労形態によって自由になる時間にバラつきがあるため、2023年度、ある村では土曜日の授業に参加できない学習者のために、日曜日の午前中に2時間の追加授業が行われました。また、学習で取り残される人が出ないように、ファシリテーターが毎週欠かさず家庭訪問を実施しました。

SMILEの識字クラスでは、UNICEFによる識字学習の7ステップを採用し、随所に学習者同志のコミュニケーションを促すような仕掛けを積極的に取り入れたクラス運営を心掛けています。例えば、学習の場づくり（STEP1）では、ファシリテーターと学習者との世間話から家庭状況の共有につなげます。新たな学習内容の導入（STEP3）では、突然新たな知識の伝達に取り掛かることはせず、絵や写真をヒントにその日のテーマを全体で考え、学習のねらいを明らかにします。続くディスカッション（STEP4）では、小さなグループに分かれてグループ討議を行うなど、学習者が自らの考えや状況を共有するような時間が多く用意されています。

普段、家事や子育て、仕事に忙しく、家の外でじっくり他者と向き合うことのない女性たちも、クラスへの参加を通じて互いの状況を知り、関係性を深める中で家庭や地域が抱える課題に気がつくことがあります。また、解決策を求めてテキストを読み込んだり、読書コーナーの書籍を積極的に手にとったりするなど、より一層学習に励む学習者も少なくありません。

学習の7ステップ

- STEP 1： 学習の場づくり（5分）
- STEP 2： 前回の復習（10分）
- STEP 3： 新しい学習内容の導入（20分）
- STEP 4： ディスカッション（25分）
- STEP 5： 書き取りの練習（25分）
- STEP 6： 読みの練習（25分）
- STEP 7： まとめと家庭学習の導入

学習の成果

クラスに参加した30人の学習者のうち、26人については一人で読み書き計算を十分にこなせるレベルまで識字能力を高めることができました。生活実践の面では、12人の学習者が、授業で学んだ家計簿の付け方を自宅で実践するようになったそうです。保健や衛生に対する意識も高まり、女性学習者のほぼ全員が子宮頸がんの検査を受けるなどしました。

また、2023年度はクラスを修了した10代の少女2名が復学を希望し、中学校の先生が実施したテストで見事合格点を獲得、中学1年生から公立学校での学習を再開することができました。



（上）クラス開始前に読書コーナーで思い思いの本を手にする学習者と地域の子どもたち、（左）クラスメートの前で課題を読み上げる学習者、（右）学習者より「ACCUありがとう」のメッセージ

現地のみなさんの声



SMILE の識字クラスに参加できてとても幸せです。家庭の事情で、2年生の時に小学校を退学したため、文字を読んだり計算をしたりすることが十分にできず、給料を受け取ってもそれが正しいのかを確認することも出来ないような状況でした。SMILE で学習するようになり、識字の技能がいかに有益かを知りました。今では出欠簿に名前を記入したり、毎月の給与日には足し算をして支給額を確かめたりできるようになりました。家計のやり繰りも以前より楽になりました。

マオ・サリーさん 39 歳 3 児の母

家庭がとても貧しかったため、12 歳の時、家の商売を助けるために学校をやめるよう母に言われ、4 年生で小学校を中退しました*。2 人の息子に恵まれ、今は孫の面倒を見ています。SMILE の識字クラスに参加したのは、もう一度読み書きを勉強し、女性や子どもが罹る様々な病気について理解したいと考えたからです。家庭菜園や家畜の世話などの技術を身につけ、孫にもいろいろと話して聞かせることができ、とても嬉しいです。

チア・トッチさん 55 歳

*カンボジアなどの途上国では就学年齢を過ぎての入学や留年が多く、年齢と学年とに大きなズレが生じるケースが多々あります。



多くの住民が SMILE の識字クラスに参加することで、村の環境が改善していくのを目の当たりにし、村長としてとても幸せに思います。クラスでは読み書きや計算の技術だけでなく、学習者本人や家族の健康について学ぶことができます。学習者の家庭では医療費の削減にもつながりました。また、読書コーナーの本を読むことで、家庭内暴力や薬物乱用の危険、人身売買などの様々な社会問題についても知ることができ、学習者はそうした情報を家庭でも共有していました。

マオ・ソッコンさん 46 歳 村長

フン・パナ CWDA 代表からのメッセージ

識字クラスは学習者だけでなく村にも多くの利益をもたらします。学習者はクラスで学んだり読書コーナーで読書をしたりすることで知識や技術を身につけ、家庭生活に活かすことができます。例えば、SMILE プロジェクトでは、家庭菜園の方法や家畜の世話の仕方、子どもの健康管理について学びますし、その結果、学習した母親たちは子どもの定期健診を欠かさず受けたり、病気になった時には適切な医療サービスを求めたりするようになりました。SMILE プロジェクトをご支援くださっている日本の皆様には心からの感謝の意を表します。これからも、文字の読み書きに不自由を抱えるカンボジアの女性たちを応援していただくと大変嬉しく思います。



SMILE ASIAプロジェクトとは？

SMILEプロジェクトは、妊婦さんや小さな子どもを育てている女性を対象とした識字学習支援プロジェクトです。具体的には、読み書き計算や保健に関わる知識、ライフスキル学習の機会を提供することで、女性のエンパワーメントを促進し、更には家庭と地域の教育・保健環境をより良くしていくことを目指しています。カンボジアでは 2008年に開始し、2017年までに55の村で1,220人以上の女性がSMILEに参加しました。



Supporting Maternal and Child Health Improvement and Building Literate Environment



“家族が変わり、地域が変わる。”

■ ACCUについて

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU：Asia-Pacific Centre for UNESCO）は、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の基本方針に沿って、アジア太平洋地域諸国における文化の振興と相互理解に寄与することを目的に、1971年に設立されました。持続可能な未来を構築することを目標に、ユネスコとユネスコのパートナーであるアジア太平洋諸国のNGOと連携し、様々な地域で文化と教育の分野において先駆的な活動を行っています。

■ CWDAについて

カンボジア女性開発協会（CWDA：The Cambodian Women's Development Association）は、1993年に設立された非営利組織（NGO）です。教育や保健の分野を中心に、カンボジアの女性の自立を支援し能力向上に資する事業を広く展開しています。



読み書きの力で女性に笑顔を！

カンボジアのSMILEプロジェクトは個人と企業の皆さまからの寄付によって支えられています。アジア太平洋の女性を応援するためのご支援をお願いします。

郵便振替口座：00120-7-365298

口座名義：ACCU アジアの女性識字振興募金

※ACCU は公益財団法人ですので、寄付金控除の対象となります。

 **ACCU**
Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター